



平成 27年 5月 6日
事前ワークショップ・模擬取材体験



平成 27年 5月 16日
大会当日・選手インタビュー



平成 27年 5月 24日
事後ワークショップ・新聞づくり



平成 27年 5月 16日
大会当日・レース取材

「こども記者」は、5月6日（土）の事前ワークショップで、模擬取材体験を行いました。その後、5月24日（日）の事後ワークショップでは、16日（土）の取材を経て、それぞれの記事をまとめ、新聞を作り上げました。ぜひご覧ください。

世界トライアスロンシリーズ横浜大会で昨年大会から実施しているキッズプロジェクト。その中で今大会より新設されたプログラムが「こども記者」です。世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会と公益財団法人横浜市体育協会の連携、そして株式会社ニコニイメージングジャパン様のご協賛により実現した、世界大会の取材をメインに新聞づくりまで行う3日間のプログラム。ゴールデンウィーク最終日の5月6日、横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センターおよび陸上競技場で実施した大会取材前の事前ワークショップでは、カメラの使用、新聞づくりについての説明をした後、障害者スポーツ文化センター横浜ラポールにご協力をいただき、障害者の陸上競技大会「第20回ハマピック陸上競技大会」で写真撮影、インタビューといった模擬取材を体験。5月16日の大会当日は、朝6時55分スタートのエアリートパラトライアスロンの部から最終のメダルセレモニーまで9時間にわたる取材活動を行いました。雨にも負けず、カメラのシャッターを切り続けるこども記者の8人。レース終了直後の山田敦子選手、佐藤圭一選手、中山賢史選手へのインタビューでは、それぞれがレース中に感じたことを質問しました。そして5月24日の事後ワークショップでは、16日の取材を経てそれぞれの記事をまとめ、新聞を作り上げました。ぜひご覧ください。

2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会 キッズプロジェクト「こども記者」 8人のこども記者が一日密着取材！

記者紹介

市川 暖乃香 (ののか) さん
西東京市立けやき小学校・6年



選手インタビューの中からたくさんのアドバイスを頂きました。今回もらったアドバイスをヒントに頑張っていきます。

樺本 (いちもと) 夕奈さん
横浜市立本牧小学校・6年



特別な場所で写真を撮らせてもらえて幸せでした。障害のある選手達への取材の中からたくさんの勇気をもらいました。

田中 昌樹さん
横浜市立黒須田小学校・6年



今回は、貴重な体験を沢山させてもらいました。人と交わり、考えることを学ぶことができたのが何よりよかったです。

丸山 ちなさん
横浜市立山下小学校・6年



シャンパンがかかるくらいの距離で、プロカメラマンに混ざって表彰式の写真を撮れたのが、一番記憶に残りました。

諸星 楓さん
藤沢市立明治小学校・6年



一眼レフカメラを使ってレース風景を撮影しました。うまくとれるようになった時の達成感がうれしかったです。

岩田 彩花さん
つくば国際大学 東風小学校・5年



取材したパラトライアスロン選手の方々は、皆明るく優しく、前向きなところがすてきでした。私も負けずに頑張ります。

菊地 直人さん
横浜市立本牧小学校・5年



ボランティアさんの細かい気配りで、安心して選手たちが全力を出せる、ということ取材の中から感じました。

佐藤 里奈さん
横浜市立永田小学校・5年



スポーツ選手のあきらめない強い心にふれることができました。このことは、自分の成長につながります。

横浜こどもスポーツ基金とは？

「横浜こどもスポーツ基金」は、障害のあるこども達へ「スポーツ」を通じて、夢と希望を持って育ち、身近な地域でスポーツ活動に参加できる環境作りを行うことを目的に創設されました。詳しくはHPをご覧ください。

詳細は **横浜こどもスポーツ基金** 検索
URL <http://yokohama-csf.jp/>



スポーツ施設を探したい！
スポーツの仲間を増やしたい！
そんな時は



横浜こどもスポーツ新聞

発行：公益財団法人横浜市体育協会
制作：2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会キッズプロジェクト「こども記者」
編集：公益財団法人横浜市体育協会 スポーツ事業部 スポーツ情報課

2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会
5月14日(土)・15日(日)
開催決定!!

